



第1号議案

令和6年度 事業報告

1. 社会福祉法人 童心会（本部）

1) 童心会の経営理念

童心会は今、社会資本の一つとして「地域の子ども家庭支援」の大切な役割を担っている。そこで、私たちは郷土に受け継がれてきた「気候、風土、文化、歴史、宗教」を見つめながら、この21世紀の社会の変化を先見し“生活や福祉”をデザインし、時代の変化に対応しうる理念「尽・還・実・育」を持つ法人として「利用者の最善の利益の実現」に向けて、公的役割を遂行しなければならない。

2) 童心会の事業目的(全保育所 共通)

児童福祉法に基づき何らかの理由で、保育を必要とする乳児・幼児を対象に保育することを目的とした児童福祉施設である。

子どもたちの心は“人間性豊かなより多くの人たち”との毎日の生活の中で「ふれあいと見守り、抱きしめ言葉」を通して「思いやり と 生きる力」が育てられるものであり、保育所は子どもたちが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、時代の変化に対応した保育を創造し、実践する必要がある。よって、子どもたち一人ひとりが、人格を持った人間としてお互いが認められ“生まれてから死を迎えられるまでの一生”を人間教育の場として捉え「人間として如何に生きるべきか」を学ぶための原体験を創ることを目的としている。

保育園(人間教育)に持たされた機能と役割

- 1) 五感と意識を刺激する0歳児からの人間教育（意識：認識し、思考する心の働き）
- 2) 子どもの愛された育ち・だきしめ言葉の保障（パーソナル・ケア）
- 3) 保護者や地域の子育て・子ども家庭支援（ファミリーケア・ワーク）
- 4) 心と体の健康創り / ヒューマン・ヘルス・ケア（Well-being）
（子ども・子育て仲間・保育者仲間・ケアを必要とする人たち）
- 5) 保育所から始める地域コミュニティ創り（コミュニティケアワーク・村づくり）
- 6) 保育ソーシャル・ワーク
（保健・福祉・医療・教育・子育て支援・発達支援センター等との協働）
- 7) 保・幼・こ・小との連携（重要課題・未来への架け橋）
- 8) すべての多様性を認めあう包括的支援（all diversity and inclusive support）
- 9) 新しい子育て文化の創造（育児体験学習、未来の親づくり）
- 10) 人間学と人間科学に基づく人間教育

3) 童心会の活動内容

① 理事長講演及び執筆活動

3年ぶりの第67回全国保育研究大会(フリー発表)にて講演実施。
2024年10月17日から奈良県にて開催され「フリー発表分科会」にて発表され、今年度も業務執行理事兼柏中央保育園園長の中山梨花も同席。他、内部研修も強化され「法人だより」はもちろんのこと、「内部研修」にむけた執筆活動を更に強化した。

② 法人体制

i 理事長職の集中体制

令和6年度の理事長研修も各保育園、園長会、主任会、その他部会のリーダー会を中心に研修会を実施した。

研修名	年間講義数
各保育園(全職員対象及び気になる子会議)	15回
園長会	12回
主任会	6回
各部会リーダー会 (献立会、保育所保健部会、リーダー研修など)	12回
合計	45回開催

ii 法人本部主体の推進事業

- 『施設修繕』として、新たに関係者を構築し既存の企業と共に保守体制及びスピーディーな修繕体制サポートを再構築した。
令和7年度にむけて、牛久みらい保育園の外観修繕及びウッドデッキ修繕、そして柏ECEC保育園のウッドデッキについてもデザインを変更し幅広いデザイン構想を検討することができた。

- 『新中長期計画』の一環として、

① 保育事業の拡大

園児・保護者・職員から「選ばれる・選んでくれる保育園」に、持続的可能な保育事業の拡大。つまり、インクルーシブな保育を実現するための児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問事業を開始した。詳細は別途報告する。

なお、「童心会の森(構想ネーミング)」については理想な事業計画と設置予定の場所についてベストな構想に一致ができず一旦構想から外す(長期的計画へシフトチェンジ)。

② 組織強化の改編

保育の専門性及び組織の業務効率と成果を向上するため保育アドバイザーを中心に保育の役割や保育園ごとの保育の意味をアドバイスしながら組織を強化した。 詳細は別途報告する。

③ 人材育成

新採用職員から全職員を対象に職位別研修を強化し、保育アドバイザーを中心に日々の保育を再理解し、保育方針のズレを年々解消させ人材育成を強化した。 詳細は別途報告する。

④ 採用活動

人材確保において大学への訪問や就職活動において積極的に活動することができず、令和6年度の主な採用活動は、ホームページからの採用広告、柏市合同就職説明会への参加、ZOOM面談、人材紹介を主とし、最終的に職員12名(保育士11名、看護師1名)を採用した。

令和7年4月1日は法人全体179名が所属することができた(派遣保育士含む)。引き続き、保育士における配置数は、法人全体で公定価格上の必要配置数の約1.5倍(現平均1.4倍)を目指す。

2. 社会福祉法人 童心会（保育アドバイザー会）

1) 活動目標

- ・ 認可保育園5園を運営する法人となり、保育目標、保育理念に沿った安定した童心会保育を展開させ、利用者の最善の利益を保障する事
- ・ 子どもを真ん中にした養育環境・保育環境、社会情勢に適応した組織の確立
- ・ well-be を実現

2) 内容

- ・ アドバイザー会議を定期的に月1回開催し、必要に応じて開催する。
- ・ 本部窓口を設置、職員の意見要望へ回答・働きやすい職場環境を整える。
- ・ 職員の育成に努めキャリア形成、保育の質向上に務める。

3) 活動実績

月	アドバイザー会議議題	法人窓口へのご意見に対する回答
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各研修リーダー、部会 MT 開催日程について ・ 4/20,5/18 の外部研修について ・ 正職、契約、パートの職務分担について ・ 課外保育の際保険証などの個人情報の持ち出しについて ・ 保育士同士の交換研修実施について ・ 育児交換日誌の文言の一部変更について「～してあげた」 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏市私立認可保育園協議会定例会報告 ・ EC 新体制現状と改善点について ・ 「ありがとうバトン」実施方法について ・ 日報内容の確認 ・ 行政からの情報共有 HP 上での性的な描写の写真掲載 保育士の一斉退職防止に向けた環境改善 保育士の暴力基本的な指針 	① 契約社員と正職の職務分担やそれにおける給与設定の差の明確化
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな行事のナレッジ事前申請について明確化 ・ お泊り保育の際の引率職員の食事代について ・ お泊り保育の際の園長、主任の同伴について（引率の責任者） ・ 調理の1日の流れマニュアル作成 	

7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・流通経済大学付属柏高校サッカー部の保育体験について 人数、オリエンテーションについて、体験内容、各園との打ち合わせ 未来の親育ての視点で受け入れ ・アドバイザーの各園運動会視察について ・8/24 外部研修について ・お盆中の業務内容について 休み・早退は本人の意向 ・各園のインスタを職員は見れるようにする 	<p>② 先輩が遅くまで残っていて帰りづらい。経験年数で態度を変える職員がいる。</p> <p>③ 特別休暇の付与要望について</p>
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ある保育所（法人は東京都）の事業譲渡について 	<p>④ 卒園児の小学校での生きる力 保育園で培った生活の力（雑巾絞り）に学校の先生が感心していた</p>
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ある保育所（法人は東京都）事業譲渡について ・KM 桑澤所長とする ・協議会「親子 de わくわくフェスタ」報告 	
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・各園、親子運動会の振り返り ・職務分担について 昼休憩のとりかたについて ・人材採用と管理を梨花園長先生が担当する 保育園の運営は各園園長とする 相談等 アドバイザーが担当する 事務長は法人運営、会計管理を主に担当 ・新潟県内養成校訪問の結果報告 ・各園の来年度退職希望者状況 ・柏市主催就職説明会実施について（10/26） ・保育適正利用童心会 ver 作成 ・ハロウィン、クリスマス、冬まつりで提供する 飲食物に対するファミリー会費の使用について ・R7 年度の入植者への説明会日にちについて ・職員からの質問 定年後の再雇用となった場合の給与形態について知りたい 最低賃金が上がったが法人の給与表の見直し 	<p>⑤ 職員間の結束の強さゆえの馴染めなさ、職場環境</p> <p>⑥ 年配の職員の保育、態度について</p>

	はあるか。	
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流通経済大学付属柏高校サッカー部 社会体験受け入れについて打ち合わせ ・ バス利用の園外保育の際の実施案提出について再度確認 ・ UM 主任、リーダー間の関係性、今後について保育アドバイザーT 先生より面談を進める ・ BCP 作成 ・ 行方不明対応マニュアル作成 ・ 育児交換日誌フォーマット見直し ・ セルフチェックシートの活用について ・ 保育博参加報告 ・ SIDS チェック強化 ・ 行事について法人保育の魅力を各園す人の保育士よりアピール動画を撮影 	
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5園アクラ組マラソン交流会について 今年度は講義会の視察研修受け入れもあり ・ クリスマス生活発表会を終えて改めて園の行事は生活の中にあるものである、狙いや目的を明確にしっかり継承していく事。 また、パワーポイントの位置づけは幕間とする。演目内容については各園自由と駿河改めて趣旨は理解したうえで実施する旨を園長から指導 ・ やさしい保育園の意味を再確認 保護者が置かれている現状に対して配慮が必要と判断される場合にやさしい保育園が適用される。園長は見極めた判断を。 ・ 年度末 3/31 の家庭保育のお願いとお弁当の依頼についてお手紙作成（返金対象） ・ R7年度の担任、行事日程、通知今後の流れについて ・ EC 職員について 育成が必要と思われる職員 2 名 固定勤務の改善を要望したい職員 1 名 ヘルプに来ている元職員がリーダーを取ることにについて 	

1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処遇改善と人事院勧告について R7 年度の処遇改善 2 の支給の仕方未定 10. 7%の処遇改善、年度末に反映 加点ポイントを作成 ・ 年度末の家庭保育のご協力に伴い、退職者の 最終出勤日を 28 日と通知 	
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ R7 年度職員配置について 各園今後の幹部候補、異動など管理出来る様 に職員リストを作成する ・ ナレッジ申請の見直し ・ 人事評価における加点ポイントについて各園 長から 10 項目提出 ・ ファミリー会費収支報告作成 ・ 年間行事確認、スクール日確認、専門リーダ ー、年齢別研修会、理事長研修、気になる子、 会議等スケジュール決め ・ 処遇改善 2 専門リーダーの見直し ・ 経営理念 R8 年度から 8 項目から 10 項目 とする ・ EC 主任・副主任任命 	
3 月	<p>主任会より質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩時の引率人数について原則 3 名 ただし園長判断で条件付きで 2 名の場合も可 ・ 午睡チェック方法 iphone のタイマーを使用してみる ・ EC の調理リーダーは O 栄養士とする 新主任と園長は理事長研修を受ける 内部には 3/28 通達 ・ R7 年度専門リーダーは係として組み込み活 動する ・ 本部への窓口を各園ごとに作成する ・ 今後の KM の取り組みとして各園へ訪問し助 言する活動はどうか ・ 理事長研修のテーマ決め ・ R7 年度、園長主任の視察訪問を検討 姉妹園同士情報交流を深めていく。 クラスリーダー研修では訪問先の園長が挨拶 	<p>⑦育休明け職員の復職における働き方、時給額について相談</p> <p>8, 職場仲間の受容傾聴共感に対する「ありがとう」の気持ちを伝えたい</p>

3) 活動を振り返って

- ・アドバイザーという立場で客観的に園活動を見ることにより、慣習的なことに気づき各園での検討議案として提案することが出来た。
「当たり前」の意識の改善と法人保育の目的、ねらいの継承のズレを予防することにつながった。
- ・アドバイザー会議で議題を上げ話し合うことで、見通しを持って計画、実施出来るようになり、園長会での各園の状況についてより深く考える事が出来円滑な園長会となっている。
- ・アドバイザーというフラットな視点で必要な場面で職員との面談を行うことも出来、職員のメンタル面のサポート、園運営に有効な提案を行うことも出来た。
- ・外部講師による研修も「社会人」「組織人」としての在り方考え方を知ることが出来、職員の意識改革、チーム力の向上、それぞれの役割意識等これからの人間力の工場に期待できる。引き続きフォローアップも行いながら定着させていく。
- ・昨年に続き、法人本部への窓口を通して、個人的な意見が出しやすくなり一職員の思いを知り対策することが出来、組織のルールが明確且つ可視化された。また、法人保育を基礎として人間性を豊かにし、チームとして組織を作っていく意識を持つことを知らせることが出来た。

3. わくわくアートタイム(全園展開事業)

■ 活動目標

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けてかけはし期のなだらかな移行ができるように、学習態度の土台づくりを進めていく。

■ 内容

月に2回、下記の内容をおこないました。

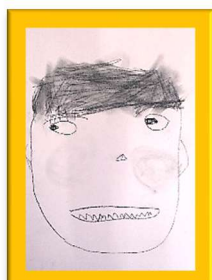
	絵 画	か き か た
4月	お友達の顔(コンテ使用観察画)	名前、いろいろな線、迷路
5月	大根の観察画(長い画用紙)	ひらがな①、○△うつし書き
6月	すてきな傘(8色絵具セットの使い方)	ひらがな②、グリッド点つなぎ
7月	パイナップルの観察画(コンテと絵具)	ひらがな③、数字点つなぎ
8月	海の中(透明シート・ポスca使用)	ひらがな④、数字点つなぎ、グリッド
9月	砂絵	ひらがな⑤、数字点つなぎ、グリッド
10月	カラーモンスター(絵具とクレヨン)	ひらがな⑥、まちがいさがし
11月	等身大の自画像	ひらがな⑦、ひらがな点つなぎ
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑧、なくなったものさがし
1月		書き初め、ひらがな⑨、ひらがなしりとり
2月	スペシャルアート (各園担当の先生が主になる活動)	ひらがな②、グリッド点つなぎ
3月	おおきくなったら(砂絵と絵具)	

■ 活動を振り返って

- ・ 昨年度から始めた個々の8色絵の具セットの利用は、子ども達がとても楽しみにしている活動になっている。自分で好きな色をつくる楽しさから、描画意欲と表現力が伸びている。絵の具の使い方も上達しているが、上手に使える子とできない子の個人差が大きい。今後は、苦手な子がよりわかりやすく使えるようになる画題と指導内容を工夫していきたい。
- ・ 「等身大の自画像」は園内での掲示が恒例になり、さくら組の活動として「次は自分たちが画く番」という意識を持って活動に向かえる子が多くなっている。
ダイナミックな活動、個性豊かな作品となり、子どもたち自身の満足度も高い。また園内掲示で、さくら組への称賛の言葉が増えて自信につながっている。
柏中央保育園、牛久みらい保育園では、卒園の時に子ども達の成長を感じてもらえるように再掲示してくださり、作品の新たな活用をしていただけた。
- ・ かきかたプリントは、4月当初は50音がスラスラ書ける子と、鉛筆を持って書くことも不安定で書くことに苦手意識を持っている子の差が大きい。全体指導のほかに個々の力に応

じて、線の練習、迷路、点つなぎ、まちがいさがしなど「好きなプリント」を選んで書く時間を増やして繰り返すことで、書く力やよく見る力を伸ばすことができた。

- ・ 就学に向けてよりなだらかな接続ができるよう、年間を通して「発表の仕方、手の挙げ方、返事のしかた」を練習したり、プリントの配り方、提出のしかた、記名の大切さ等を伝えている。1月～3月には、小学校の授業をイメージできるようにチャイム音を聴かせて時間を区切るなど、活動時間の配分も工夫している。
今後も就学への期待を高めていく一助になるよう、無理なく楽しみながら個々の力を伸ばしていける活動にしていきたい。



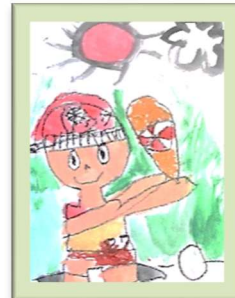
目から描いた観察画『ともだちの顔』



かきかたプリントにも真剣に取り組んでいます



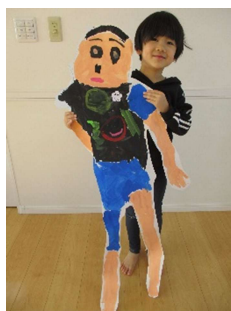
『パイナップルの観察画』



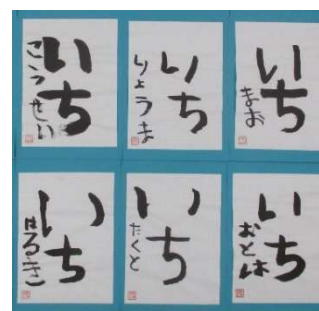
『おおきくなったら』(砂絵と絵具)



『かさじぞう』



『等身大の自画像』



『かきぞめ』

※ 資料添付

「わくわくアート通信」を保護者向けに年4回発行しています。
令和6. 8月発行の通信を添付いたします。

さくらわくわくアート通信 第2号(8月号)

わくわくアートを始めて5ヶ月、4月からの活動を振り返りお伝えいたします。

◆友達のかお(観察画) **絵画**



◆大根の観察画



コンテを使って「目から」描きました。視点が変わると観察力もUP、イキイキした表現になりました。

細長い紙に描いた大根クレヨンでピカピカ塗りにして質感を表現、葉っぱの形もよく見えています。

◆「すてきなかさ」



◆パイナップルの観察画 (コンテと絵具)



☆細かな観察と丁寧な着色が素敵です☆

◆海の中 (透明シートにボスカで描画)



ボスカを上手に使用して、カラフルでかわいい作品ができました

かきかた



◆文字の練習は「かきたい」気持ちを伸ばすことを1番のねらいにしています。

- ・いろいろな線、迷路…運筆の練習
 - ・グリッド点つなぎ…よく見て写し書きする練習
 - ・数字点つなぎ…数への興味、運筆の練習
 - ・まちがいさがし…左右の確認、集中力
 - ・ひらがなクイズ…語彙力、発表の仕方の練習
- 等々、ひらがなの練習だけでなく様々な力を伸ばしていけたらと思います。

ポイントは「できた!」「おもしろい!」です。

ひらがなクイズ「つから始まる言葉は何でしょう?」「つりです」「つくえです」です、まず、で発表する練習をしています。



初めて個々の8色絵の具セットを使って好きな色をつくる楽しさを体験しました。



活動のひとこま

【令和の時代の寺子屋】

私は高間先生が指導している“わくわくアート”の活動を読んでいると「令和の時代の寺子屋」を思い起します。さくら組さん達に「授業を受ける準備、態度、姿勢、聴き方、返事、意見の発表、片づけなど」教えるを乞う人としての心得を身につかせています。

正に「人としての道・知恵・生きる力」を身につけているのです。人間の二足歩行の獲得と同じく、さくら組の1年間の時間をかけて学び続けているのです。

理事長 中山 勲

自分で好きな色をつくれる絵の具セットを使い始めたさくらさん、「今度パイナップルの絵を描くけれどクレヨンと絵具のどっちがいい?」と事前に聞いてみました。「絶対えのぐ!」という圧倒的な声がありました。

難しいのでは?という心配をよそに楽しそうに描く子どもたち、細かい表現に感心するばかりです。可能性は無限大!! 成長を続けるさくらさん、これからの活躍が楽しみです。

4. わくわくタイム(全園展開事業)



わくわくタイムの概要・ねらい・実施内容

【活動の概要】

法人内5園の年長児(さくら組・5歳児)を対象に、園バスを利用して徒歩では行けない公園や公共施設などの社会資源を活用し、園外での活動を実施しました。

【活動のねらい・目的】

- 五感を刺激する体験の提供

四季折々の自然を感じることができる公園で、草木や花、木の実などと触れ合い(視覚・嗅覚・触覚)、心身の満足を得られる活動を通して、情緒の安定を図ります。

- **主体的な遊びによる集中力の育成**

手足の指先まで意識を向けながら遊ぶことで、自分の身体を理解し、全身を使った動きや関わりの楽しさを味わいます。また、課題を自ら見つけて挑戦する主体性を伸ばします。

- **応援される経験から学ぶ心の成長**

園児の頑張りを温かく見守り、応援することで「がんばること・つづけること・がまんすること」の大切さや楽しさを子どもたち自身が見つけていきます。（※主体性＝「自分の意思」や「やりたい気持ち」から行動する力）

- **感謝の気持ちを育む挨拶**

公園や施設を利用させていただくことへの感謝を込めて、気持ちのこもった挨拶をする習慣を身につけます。

【活動の実施内容】

- 月2回の頻度で各園にて実施。片道30分圏内の公園や施設を訪問し、活動時間は1時間前後としました。

- 子どもの脳を活性化させることを目的に、「人との関わり（人環境）」「室内環境」「外／四季を感じる環境」「社会資源（地域施設等）」を効果的に活用しました。

- 行事と重なる場合は、園の行事を優先、または振替としました。

【園バスでの移動について】

- 安全で快適な移動のために、以下のような約束事を守って行動しました：
「立ち上がらない」「大きな声を出さない」「窓を開けない」
- 換気は四方向（前後左右）の窓を開けることで対応しました。
- 衛生管理の一環としてバス車内を抗菌処理し、清掃方法もアルコール拭きから水拭きへと変更しました。

-

活動場所

園内(みんなの広場) / あけぼの山農業公園 / 南部公園 / 手賀沼公園 / 柏西口第一公園
 リフレッシュプラザ柏 / 柏リフレッシュ公園 / 柏ふるさと公園 / 野々下水辺公園
 増尾城址公園 / 中原ふれあい防災公園 / / やまびこ公園 / 柏の葉公園
 洞峰公園 牛久運動公園 / 乙戸沼公園 / 霞ヶ浦総合公園 / イオンモールつくば / 竜ヶ岡公園
 満点の湯 / 柏中央体育館_幼児体育室 / JAXA 筑波宇宙センター / 南部クリーンセンター

令和6年度_わくわくタイム年間実施表

R6年度 年間活動一覧表										
園名	柏さかさい保育園		柏中央保育園		牛久みらい保育園		柏しんとみ保育園		柏ECEC保育園	
月	日	場所	日	場所	日	場所	日	場所	日	場所
R5.4月	8日	手賀沼公園	15日	あけぼの山農業公園	16日	羽峰公園 10日⇒16日	12日	あけぼの山農業公園	5日	あけぼの山農業公園
	22日	増尾城址公園			24日	牛久運動公園			19日	増尾城址公園
5月	27日	柏ふるさと公園	20日	増尾城址公園	15日	乙戸沼公園	10日	増尾城址公園	17日	南部公園
					29日	牛久岡中央書館				
6月	10日	手賀沼公園	3日	南部公園	12日	霞ヶ浦総合公園	14日	南部公園		
	24日	手賀沼公園	17日	手賀沼公園	26日	JAXA筑波宇宙センター	28日	手賀沼公園		
7月	8日	野々下水辺公園	1日	野々下水辺公園	10日	みんなの広場	12日	野々下水辺公園	5日	野々下水辺公園
	22日	みんなの広場			24日	みんなの広場	26日	みんなの広場	19日	さくら組お部屋
8月	26日	みんなの広場	5日	みんなの広場	28日	みんなの広場	9日	みんなの広場	2日	さくら組お部屋
			19日	みんなの広場			23日	みんなの広場		
9月	9日	南部公園	2日	南部公園	11日	羽峰公園	13日	南部公園	6日	南部公園
					25日	竜ヶ丘公園	27日	やまびこ公園	20日	やまびこ公園
10月	28日	中原ふれあい防災公園	7日	あけぼの山農業公園	9日	牛久運動公園	11日	あけぼの山農業公園	4日	柏西口第一公園
									18日	あけぼの山農業公園
11月	11日	北柏ふるさと公園	18日	やまびこ公園	13日	竜ヶ丘公園	8日	柏西口第一公園	1日	満点の湯(雨天)
	25日	柏西口第一公園			27日	乙戸沼公園	22日	北柏ふるさと公園	15日	北柏ふるさと公園
12月	9日	満点の湯(足湯)	2日	満点の湯(足湯)	11日	霞ヶ浦総合公園	13日	手賀沼公園	20日	手賀沼公園
	23日	柏中央体育館 幼児体育室	16日	柏中央体育館 幼児体育室	25日	牛久自然観察の森	27日	中原ふれあい防災公園		
R6.1月	27日	リフレッシュプラザ柏	20日	リフレッシュプラザ柏	15日	牛久運動公園	10日	柏リフレッシュ公園	17日	リフレッシュプラザ柏
					29日	羽峰公園	24日	リフレッシュプラザ柏		
2月	10日	南部クリーンセンター	3日	柏リフレッシュ公園	12日	霞ヶ浦総合公園	14日	柏リフレッシュ公園	7日	柏リフレッシュ公園
			17日	南部クリーンセンター	26日	羽峰公園	28日	柏中央体育館 幼児体育室	21日	南部クリーンセンター
3月	10日	南部公園	3日	柏ふるさと公園	12日	竜ヶ丘公園	14日	南部クリーンセンター	6日	柏中央体育館 幼児体育室
	24日	やまびこ公園					28日	柏ふるさと公園		
年間合計		18		16		21		21		17
										93

年間活動合計 93回

活動の振り返り

令和6年度の「わくわくタイム」は、前年度の83回から93回へと活動回数が増加しました。子どもたちが体験を通して学び、心に残る活動となるよう意識して取り組みました。特に、満点の湯様のご協力による足湯体験や、南部クリーンセンターでの工場見学では、ごみに対する意識を深める貴重な機会となりました。

活動への期待と園児の姿

バスが園に到着する前から、担任の先生が活動内容について子どもたちに期待感を持たせてくださり、当日は「わくわく」した表情で元気に挨拶する姿が見られました。乗車時には「よろしくお願いします」、降車時には「ありがとうございました!」と、相手の目を見て感謝の言葉を伝える姿勢が定着し、思いやりや優しさが育っていることが感じられました。

公共性の学びと約束

移動中のバスでは、「立ち上がらない」「大声を出さない」「窓を開けない」などの約束を守りながら、公共マナーを自然に身につけていきました。移動時間も音楽やレクリエーションなど楽しいひとときとして活用されていました。

時間の意識と主体的な行動

活動時間は1時間前後。限られた時間の中で「今は何をする時間か」という意識を持ち、自らの姿勢を正して遊びの時間を確保しようとする姿が増えました。繰り返しの経験を通して、「話をきちんと聞く＝たくさん遊べる」と理解し、自分たちで時間をつくる力が育ってきました。

非認知能力の育成

成功体験はもちろん、失敗を恐れず挑戦する“失敗体験”も大切にしながら、粘り強く取り組む力を育んできました。「がんばること・つづけること・がまんすること」という理念に基づき、困っている友だちへの寄り添いや仲間と協力する姿が多く見られました。

環境の活用

園ごとに異なる環境（室内・外遊び・季節・社会資源）を活かしながら、人との関わりや自然とのふれあいを通して、遊びの中で「楽しい」を共有することができました。これにより、仲間意識や思いやりの心が育まれました。

主体性の育ち

肯定的な声かけを心がけることで、子どもたちは自ら選び、考え、遊びを創り出す力を育んでいます。決めすぎず、ルールで縛りすぎない環境づくりを大切に、子どもたちの気づきや発見を支えることで、自尊心を高めることに繋がっています。

5. 柏さかさい保育園

1) 事業内容(KS)

① 保育所の運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業他、
保育事業として延長保育促進事業を実施する。

- ・ 開園して 15 年となるなかで、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育ててきました。
幼児組は日々の活動に課題を見つけチャレンジする意欲が育つと共に、多くの園行事の体験から「自分でできる、みんなとできる、人のために出来る、助け合ってできる」を経験し、一つひとつ子どもたちが話し合い、認め合い助け合いながら自分たちで作り上げ多くの「がんばること、つづけること、がまんすること」と「やれば出来る！」を実体験した。乳児組は各クラスでじっくり活動することで、30 分間の朝会にリーダーとなり楽しんで参加し、自尊感情、非認知能力を育てて来ました。法人職員による音楽リズム、絵画、文字、課外活動の経験により、体験を共有することで心を育て、知識を獲得することで自信をもち就学に繋げることが出来ました。
- ・ 4, 5 歳児のお泊り保育は安全対策をしっかりと行い、3歳児は夕涼み会として園内で20時まで友達と過ごし、5歳児はお泊り保育の目標のもと「今できる事」をみんなで考え外部にて、4 歳児は園内泊のお泊り保育を実施しました。運動会は全クラスの開催とし、クリスマス生活発表会は乳幼児を別開催にするなど新しい試みの中の良さを活かして開催しました。
- ・ 特別な支援が必要とされるお子さんや集団での生活が苦手なお子さんに対して、地域保健福祉課、ウェルネス発達支援センターなどの行政や各療育施設と連携を取り適切な支援を行い、小学校との接続もスムーズに行う事が出来ました。
- ・ 夏まつりはおやじの会の方々に駐車場やブースのお手伝いを頂き、多くの子どもたちとの触れ合いに大人も子どもも季節を感じる行事が出来ました。
- ・ 自園の異年齢児交流保育も行い、姉妹園とはマラソン交流会を開催しました。2・3・4・5歳児の公園里親ボランティアで公園のトイレ掃除が今年度も再開を見合わせており、公園のごみ拾い活動を行った。また5歳児は朝やお昼の放送を行なったり、朝の人数確認の為各クラスを周り、役割を務めることに対して「ありがとう」の言葉を受けて人のためになる喜びを感じる経験、成功体験・失敗体験を経験することが出来ました。

- ・ 子育て支援まことちゃんは安全な場所を求め地域の親子連れが積極的に利用していた。人との交流を避けられていた時期があったからこそ必要な場となり利用者の育児に対する悩みを聞いたり、こちらからメールで近況を伺ったりして、「一人ではない」ことを感じてもらえるように繋がりを意識し活動しました。
- ・ 園活動においてはファミリー会として保護者から、またおやじの会からの協力をいただきました。
- ・ 保育士養成校 7校 10名、慈恵柏看護専門学校 9 名の受け入れをし、地域の子育て支援について伝えることが出来、地域貢献できました。
- ・ 近隣の中学校の職場体験では2名、柏陵高校 2、3 年生のインターシップは 9 名を受け入れ、近隣の小学校とは交流会の参加や、手作りおもちゃをもらい大変有意義な交流が出来ました。

2) 児童の在籍状況 (KS)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	14	48	24	48	134
5 月	19	48	24	48	139
6 月	24	48	24	48	144
7 月	24	48	24	48	144
8 月	24	48	24	48	144
9 月	24	48	24	48	144
10 月	24	48	24	48	144
11 月	24	48	24	48	144
12 月	24	48	24	48	144
1 月	24	48	24	48	144
2 月	24	48	24	48	144
3 月	24	48	24	48	144
計	273	576	288	576	1713

3) 保育園の保守管理(KS)

当園は、定期的な清掃及び修繕点検を実施し、壁紙等の修繕工事を行いました。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないように室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機、サーキュレーター、アルコールを設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KS)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練 各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練 防犯訓練
引渡し訓練(地震)	年 1 回	
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員 AED, 心肺蘇生講習 職員 エピペン指導 職員 嘔吐処理 職員

5) 保健衛生(KS)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

様々な感染症に対して園児、職員の健康観察や行政からの情報提供に努め、必要に応じて感染の流行防止対策を徹底した。

園児 : 嘱託内科医による内科健診(年 2 回)。嘱託歯科医による歯科健診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(年1回)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。
急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員：健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、消毒の仕方について職員研修を実施。

保護者：ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KS)

行事は下記の表のように童心会の特徴である四季のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。公園里親ボランティア活動は、近年はコロナウイルス感染症の経験から公園のトイレ掃除は見送り、公園内のごみ拾いを行いました。

※ 誕生会、映画会、身体測定、毎月実施

※ 実習生は随時受入(令和6年度は10名を受入れ)

本年度は 道灌山学園保育福祉専門学校 1名、江戸川大学 2名
江戸川大学おおたかの森 3名、東京未来大学 1名
千葉女子専門学校 1名、竹早教育保育士要請所 1名
東京YMCA 専門学校 1名

実施月	行事名
4月	・進級式・入園式・春まつり
5月	・バス遠足・こどもの日のつどい・4, 5歳児 ・引渡し訓練・カスミ食育体験
6月	・個人面談・内科検診・尿検査・歯科検診 ・さくら組 お泊り保育
7月	・視力検査(5歳児)・七夕の集い・ひまわり組 夕涼み会 ・プール開き
8月	・プール納め
9月	・視力検査(4歳児) ・たんぽぽ組 夕涼み会 ・ふれあいパーティー(年長組のみ祖父母を招待、全園児手紙)
10月	・運動会・交通安全教室・秋まつり鑑賞会 ・ハロウィン ・逆井小学校街探検来園
11月	・5歳児 10km ウォーク ・バス遠足(幼児組芋掘り)(乳児組公園) ・南部中学校 職場体験 ・5歳児 逆井小学校1年生との交流 ・柏陵高等学校 インターンシップ

	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児 土小学校交流 ・マラソン記録会(1回目)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス生活発表会2日間に分かれ2クラスずつ ・内科健診
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン記録会(2回目)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬まつり(節分豆まき製作) ・柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園、柏ECEC保育園交流会(5歳児 マラソン交流会) ・視力検査 3歳児
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当屋さん・ひなまつり集会 ・おにいさんおねえさんありがとうの会 ・卒園遠足 ・卒園式

7) 職員の充足状況(KS)

① 定員120名 弾力運営 145名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	20名	20名	20名	20名	20名	20名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	22名	3名	26名

② 現員(令和7年4月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	短時間保育士	看護師	事務員
配置	1名	1名	30名	3名	1名	1名
区分	みなし	サポーター	栄養士	調理員	全職員48名	
配置	4名	1名	1名	5名		

※ 派遣保育士は保育士に含む(2名)

※ みなし=子育て支援員

6. 柏中央保育園

1) 事業内容(KC)

① 保育所運営、②地域子育て支援拠点事業、③一時預かり事業
他、保育事業として延長保育促進事業も実施する。

駅近ということもあり、都内で就労する保護者も多く、19 時以降延長保育を利用する園児は平均 18 名になる。

- ・ 特別な支援が必要な子への対応について、令和6年度は8名(多動傾向、自閉症傾向、軽度の遅れ)に対して、それぞれのクラスに補助職員が入り保育サポートを行う。共に暮らすことにより、挑戦しようとする意欲や、相手への思いやりの心も育まれ微笑ましい場面が多く見られる。
- ・ 里親活動
園外での活動が殆どのため、使用している一部の公園の里親活動を行う。「あたりまえ」ではなく、「ありがとう」の感謝の気持ちを大事に出来る子に育つよう公園の清掃活動を定期的に行う。
- ・ 基本的生活習慣を大事に、衣服の着脱、トイレトレーニング、食事のお約束、フォークや箸の持ち方、お友達、人との関わりなど、生きるために必要なことを、保育園という小さな社会の中で学び、たくさんの刺激ある暮らしの中で、
『ひとりでもできる みんなでできる 人のためにできる』
ことを増やしていく。
- ・ 本園は、社会資源を活用し園外活動に力を入れている。散歩、買い物、見学など、目的をもって充実した時間を持てるよう計画的に行う。園バスを利用した活動もあり、いろいろな経験体験の中で、『イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキ』を感じられるような時間が持てるよう推進している。
- ・ 暮らしの中で、たくさんのスペシャリストに協力していただきながらたくさんの刺激ある活動を取り入れている。
【わくわくアート】【わくわくタイム】【幼児体育】【音楽リズム遊び】専門の先生にご指導いただくことにより職員の学びの場となり良い刺激になっている。
※ワクワクアートについては、補助の職員が「ワクワクアート」活動に入り月 2 回のアート活動以外でも補助職員が数回アートの時間を行い就学に向け楽しみながら座れる時間を作る。

2) 児童の在籍状況(KC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	12	39	18	37	106
5 月	12	39	18	37	106
6 月	12	39	18	37	106
7 月	12	39	18	37	106
8 月	12	39	19	37	107
9 月	12	39	19	37	107
10 月	12	39	19	37	106
11 月	11	39	19	37	106
12 月	12	39	19	37	107
1 月	12	39	19	37	107
2 月	12	39	19	37	107
3 月	12	39	19	37	107
計	143	468	224	444	1,279

3) 保育園の保守管理(KC)

当園では、毎日の掃除及び定期的点検実施する。

玩具に破損部分がないか定期的に確認すると共に、乳児クラスの玩具については、毎日、電解水を使用し衛生的環境が保てるように心掛ける。

使用した玩具は、オゾン保管庫で消毒をする。

幼児クラスの玩具についても電解水を利用し定期的に清掃すると共に、園児が自分で作った雑巾を使用し水拭き掃除を行う。

4) 消防・地震計画(KC)

地震火災が起きたことを想定しての避難訓練、引き渡し訓練、夜間訓練は勿論のこと、避難場所の確認、避難靴、非常食など、職員、そして保護者との共通理解できるよう実施した。 8 月には、同ビルの KDDI と一緒に合同避難訓練を行う。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月1回	夜間(夕方)訓練1回実施
引き渡し訓練	年1回	保護者への周知
消火訓練	年1回	職員参加
不審者訓練	年1回	園児含め行う

防火装置の検査	年 2 回	消防署へ報告(義務年 1 回)
その他	年 1 回	119 番通報訓練

5) 保健衛生 (KC)

病気・怪我・感染症には細心の注意を払い、感染症が流行した際には、病名 を掲示板で周知するとともに、「病気に負けない強い体づくり」の大切さを保護者の皆様にご理解いただけるよう、食事や睡眠の重要性について「オガスマ」等で定期的にお知らせしています。感染拡大防止に努めるのはもちろんのこと、園児たちの健康管理として、年 2 回の内科健診、年 1 回の歯科健診を実施しています。そのほかにも尿検査を行い、職員に対しては月 1 回の腸内細菌検査を実施するなど、全体の衛生管理に努めています。看護師は定期的に各クラスを巡回し、病気などの相談に応じるほか、育児相談会や怪我をした子どもの対応も行っており、保育士にとっても安心できる存在となっています。近年は、年間を通して流行する感染性胃腸炎、インフルエンザ、コロナウイルスなどへの対策として、塩素系殺菌剤による室内消毒を徹底しています。各部屋には加湿器を設置し、特に感染症が流行しやすい冬季には、清掃や消毒を念入りに行い、清潔な環境の維持に努めています。さらに、看護師による衛生管理の指導を定期的に行い、職員全体で意識を高めながら、園児の健康を守る体制を整える。

6) 各種幼児の実施状況(KC)

実施月	行事名
4月	入園式・10 キロウオーク
5月	こどもの日の集い/筑波山登山・お泊り保育・収穫体験(4・5 歳児)・内科検診
6月	プール開き・4 歳お泊り保育・尿検査
7月	七夕の集い・夏まつり
8月	歯磨き指導 夕涼み会(3 歳児)
9月	引き渡し訓練・視力検査(4・5 歳児) おじいちゃん・おばあちゃんふれあいパーティー(5 歳児祖父母招待)
10 月	親子運動会・ハロウィンパーティー
11月	第 1 回マラソン記録会・収穫体験(3 歳児)
12月	クリスマス生活発表会・クッキング・もちつき
1月	マラソン記録会
2月	節分豆まきの会・バレンタインクッキング・視力検査(3 歳児)・冬

	まつり・マラソン交流会
3月	卒園遠足(10キロウォーク)・ひなまつりの会・ありがとうの会・卒園式・入園説明

※誕生会、身体測定は毎月実施(各クラスで行う)

7) 職員の充足状況(KC)

① 定員90名 弾力運営 107名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	10名	16名	16名	16名	16名	16名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	18名	2名	21名

③ 現員(令和7年4月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	みなし	栄養士
配置	1名	1名	26名	3名	1名
区分	調理員	事務員	看護師	保育補助	全職員39名
配置	4名	(1名)	1名	2名	

※ みなし=子育て支援員

※ 事務員は保育士兼務

7. 牛久みらい保育園

1) 事業内容(UM)

牛久みらい保育園は、平成25年4月1日にひたち野うしく駅西口から徒歩15分のところに開園し、下記の3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、② 地域子育て支援拠点事業、③ 一時預かり事業

その他、特別保育事業として、病児保育事業(体調不良児対応型、病後児保育)延長保育促進事業も実施している。

また、受け入れ定員の弾力化により園児の追加受け入れを行い、牛久市の待機児童の解消および、委託費収入の増へつながった。

- ・ 保育活動、行事運営については、園内外の環境や地域資源を活かし、子どもたちの五感を刺激しながら心身の健やかな育ちにつなげていった。専門指導員による幼児体育やわくわくアート、わくわくタイム(園外活動)充実させ、また、看護師と連携した保健衛生・命の学び、調理室と連携して食育活動、職員の特技をいかした音楽活動も取り入れて行い、わくわくドキドキする保育園づくりに努めた。
- ・ R6 年度より新たにスクール活動(月:体操、木:サッカー)が始まった。初年度ということもあり、入会者数は少ないが、今後も他機関との連携、職員の業務改善、保護者のニーズ、園の特色として確立を目指していきたい。
- ・ 子育て支援センター事業「としおちゃんのお家」の活動については、毎月の製作あそびが非常に人気で混み合うほどであった。手形、足形をとって製作をすることがお子さんの成長を感じられるようで、毎回楽しみにされている。他にも食事体験会、園行事への参加等、保育園の専門性を活かした活動を展開することができた。
- ・ 一時預かり保育事業については、年間利用人数が58名(R5 年度37名)、利用者は微増、今後も子育て支援センターの活動との連携、保護者支援につなげていきたい。
- ・ 病後児保育事業については、新規登録38名(令和5年度:20名)にとどまった。年間通しての利用人数は17名(令和5年度:19名)、利用者数は昨年度より微減となった。
- ・ 保護者会については、R6 年度より新体制(ファミリー会活動費の集金)となったが、理解、協力を得て円滑に移行することができた。四季のおまつりや運

動会、発表会での景品等に活用することができたので今後も充実した保育園活動のために保護者、園が一体となってすすめていきたい。

2) 児童の在籍状況(UM)

区分 月	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	計
4 月	7	35	17	36	95
5 月	8	36	17	36	97
6 月	10	36	17	35	98
7 月	12	36	17	36	101
8 月	13	36	17	36	102
9 月	13	36	17	36	102
10 月	14	36	17	36	103
11 月	14	35	17	36	102
12 月	15	36	17	36	104
1 月	15	35	17	36	103
2 月	15	35	17	36	103
3 月	15	35	17	36	103
計	151	427	204	431	1213

3) 保育園の保守管理(UM)

保健部が中心となり、園児、職員の健康管理、感染症情報などについて保護者への周知、協力依頼を続けた。また保育室内の清掃消毒の徹底及び玩具の定期的な消毒を行っている。

4) 消防・地震計画(UM)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月 1 回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・竜巻・夜間対応・抜き打ち訓練含む
消火訓練実習	年 1 回	職員参加

消防機材の点検	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 4 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(UM)

園児：嘱託内科医による内科健診(年 2 回)、嘱託歯科医による歯科健診(年 2 回)及び尿検査を実施。また看護師による歯磨き・手洗いなどの保健指導、命の大切さを学ぶマタニティ体験の実施。

職員：健康診断(年 1 回)、腸内細菌検査(毎月)を実施、また看護師による感染症対策、救急処置方法などについて研修の実施。

保護者：ほけんだよりの発行(毎月)、エントランスに設けた「ほけんコーナー」にて保育園(市内近隣)の感染症の状況などの掲示を行った。新型コロナウイルス感染症対策についても都度情報を発信して、注意喚起を行った。

6) 各種行事の実施状況(UM)

実施月	行事名
4 月	入園式 ・こどもの日のつどい
5 月	春まつり(クラス懇談会・親子ふれあい遊び)・春のバス遠足・筑波山登山(5歳児)・内科健診
6 月	歯科健診 ・お泊まり保育(5歳児)・お泊まり保育(4 歳児)
7 月	・七夕のつどい ・プール開き
8 月	夏まつり(小学校)・プール納め ・食育教室(5歳児)
9 月	・親子うんどう会(0・1・2歳児)
10 月	・親子うんどう会(3・4・5歳児)・秋まつり(人形劇鑑賞)
11 月	・秋のバス遠足・10km ウォーク
12 月	・クリスマス生活発表会(2日間に分けて実施)・もちつき
1 月	・内科健診 ・童心会マラソン交流会
2 月	・節分豆まき ・歯科健診 ・新年度入園説明会 ・冬まつり(クラス懇談会・親子ふれあい遊び)
3 月	・ひなまつりの会 ・卒園遠足(アクアワールド茨城県大洗水族館) ・さくら組さんありがとうの会 ・卒園式

※ 誕生会、映画会(幼児・乳児)、身体測定、交通安全教室は毎月実施

※ 4・5 歳児は専門の指導員による幼児体育を実施(月 2 回)、5 歳児は高間先生による文字の書き方、絵画指導(月 2 回)、力公先生による園外活動を実施(月 2 回)

※ 実習生受け入れ(年間2名)

東京家政大学 1名 聖徳大学 1名

7) 職員の充足状況(UM)

① 定員 90 名 弾力運営受け入れ最大105名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	90名

② 職員の配置基準とその配置

※ 職員配置基準(園児:職員)

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	13名	2名	16名

※上記配置基準は特別保育事業の加配人員は除く

③ 現員(令和7年4月 1 日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士
配置	1 名	1 名	19名	3名 (うち 1 名は本部所属)	1 名
区分	調理員	保育補助	事務員	全職員 30名	
配置	4名	1 名	1 名		

※ 本部所属 1 名は除く

8. 柏しんとみ保育園

1) 事業内容(KT)

柏しんとみ保育園は、平成27年4月1日に開園し10年が経過する。流山市に隣接し他市からの問い合わせも多く、園見学に多くの方が来園されている。事業は2事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。なお地域子育て支援拠点事業は隣接している為、市からは不認可だが園庭開放など近隣の子育て仲間とのコミュニケーションを図る為に行っている。

◇ 保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を目標に保育方針である、たくさん抱きしめ、よく見つけ、しっかり耳を傾けて、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、応答関係を大切にして興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てている。
- ・「笑顔・挨拶・思いやり・感謝」は生きる心得として常に一人一人が心掛けており、皆が過ごしやすい園づくり・村づくりを作っている。
- ・専門の先生による音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイム・幼児体育では、様々な経験・体験を通して五感を刺激し脳の発達に繋げ心と身体を豊かにしている。
- ・野菜や米を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さや感謝の気持ちを学んでいる。
- ・園外保育活動では地域の公園を沢山利用している。地域の方と交流しながら、遊び方、公共の施設の使い方など様々な経験・体験を通して多くのことを身につけている。
- ・保護者の方々にも多くの行事に参加をして頂き、柏しんとみ保育園の繋がりを大切にし、村づくりをはかる。行事や普段の様子をSNSで配信して、保護者の方に幅広い方向から園の様子を知っていただいた。

◇ 地域貢献

- ・『地域交流会や子育て支援』を独自に行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え努めるよう心掛けている。
- ・『公園里親活動』4, 5歳児が笹原第4公園の清掃活動を定期的に行い、きれいになる喜びや人の役に立つ経験をする。
- ・小学校接続を目的とした、小学校との交流として柏市立柏第二小学校の一年生と交流を持ち、就学に期待をもてるようにした。また一人ひとりの引継ぎも丁寧に実施する。

2) 児童の在籍状況(KT)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	4	37	17	37	95
5 月	4	37	17	37	95
6 月	6	36	17	37	96
7 月	9	38	18	38	103
8 月	10	38	18	38	104
9 月	13	38	18	38	107
10 月	13	38	18	38	107
11 月	13	38	18	37	106
12 月	13	38	18	37	106
1 月	13	38	18	37	106
2 月	13	38	18	37	106
3 月	13	38	18	37	106
計	124	452	213	448	1,237

3) 保育園の保守管理(KT)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

※毎週午睡時に職員当番による安全確認と月1回全体清掃日を実施。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の玩具消毒はもちろんのこと布団や床・窓等の消毒もこまめに実施し清潔を維持している。

また園庭も草むしりや危険物の落下等がないかを点検し、子ども達が常に安全に過ごせるよう心掛けている。

4) 消防・地震計画(KT)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外訓練 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練

防犯訓練	2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KT)

保護者へおがーるによる情報提供、手紙の配布、園内ポスター掲示等により感染症対策の協力をお願いする。園児にも手洗い・うがい指導を実施し感染症対策を伝えていく。また病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員で意識向上させている。
熱中症対策やプール活動、SIDS 対策についても、園内研修を行い安全に保育ができるように意識向上していった。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年1回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)。身体測定(月1回)尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガをした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策の研修(インフルエンザ・嘔吐下痢)

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種、健診の確認。感染症流行期にはおがーるでの連絡や園内掲示にて情報を発信し保護者の方へ素早く情報を提供し、家庭でもできる範囲の感染症対策のご協力をお願いする。

6) 各種行事の実施状況(KT)

月	行 事
4	入園式、進級式、懇談会、こどもの日の集い
5	遠足、10 キロウォーク(5 歳児)
6	お泊まり保育(5 歳児)、お泊まり保育(4 歳児)、手洗い指導(3、4、5歳児)、歯科検診、内科健診、プール開き
7	七夕の集い、夕涼み会(3 歳児)、夏まつり
8	プール納め、引き渡し訓練

9	敬老の日の集い
10	親子うんどう会、人形劇、秋まつり、遠足
11	視力検査(5歳児)、プレマラソン
12	クリスマス生活発表会、おもちゃつき、大掃除、視力検査(4歳児)
1	マラソン記録会、内科健診、マラソン交流会
2	節分、視力検査(3歳児)、冬まつり、卒園遠足
3	ひなまつりの集い、入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式、入園保護者面談、

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・音楽リズムセラピー・4,5歳児幼児体育・5歳児わくわくアート・5歳児わくわくタイム、表彰、公園清掃、食育活動

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(90名) 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	13名	19名	19名	19名	19名	19名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

● 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	19名	3名	24名

② 現員(令和7年4月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	19名	1名	4名
区分	看護師	みなし (子育て支援員兼務)	スーパーバイザー	事務員	全職員31名
配置	1名	3名	1名	(1名)	

※ みなし=子育て支援員

※ 事務員はみなし兼務

9. 柏 ECEC 保育園

1) 事業内容(EC)

柏 ECEC 保育園は、平成 30 年 4 月 1 日より開園し 7 年が過ぎた。
柏駅東口の駅近くということもあり園見学に来られる方も多い。

事業は 2 事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、 ② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。

◇保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意思を育てている。
- ・プランター栽培で稲や野菜、花を育てる経験をし、それを用いてクッキング体験に繋げていき、食への興味や美味しくいただくことの大切さを知る。
0歳児から、様々な食材に触れる経験を取り入れ、各クラス毎月の食育活動の充実を図った。
- ・地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事や歩く体力も意識して行う。近隣の立地上、行ける公園も限られており固定遊具で身体を活用しながら遊ぶ経験も少ない為、公園までの移動は徒歩だけではなくバスでも移動をし、公園での遊ぶ時間を長時間確保できるように進めていった。
- ・特別な支援が必要なお子さんや集団での保育が苦手なお子さんに対して、柏市子ども発達支援センターや訪問支援事業など専門機関との連携を大切にし個々の育ちに対して、集団の中において適切な支援を行った。
- ・外部や内部の専任講師による幼児体育・音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイムでは、日頃の保育の中では見られない子どもの姿や成長を見ることができ、園児だけではなく、保育者も沢山の学びを得て成長できる時間となっている。また、それらを MT で共有することで、レベルを変えて他クラスでも取り組むことができ、保育の幅も広がっている。

◇地域貢献

- ・園見学を通して、保育園についてまた(童)について、しっかりと発信することで地域コミュニティの核となる場所があることを、伝えることができた。
地域の方の子育てに関する相談を受けることで地域の方との繋がりや、保育園

の役割を伝えていくことができた。

- ・ 一時保育の受け入れの問い合わせも増え、受け入れを行っている。
- ・ 保育士養成校や看護学生の実習生を積極的に受け入れ、互いに学びとなる機会を設けることで、職員にとっても刺激となった。

◇保護者との協同

- ・ 5歳児保護者にはファミリー会代表として、親子うんどう会・ハロウィンイベント・クリスマスの行事においてお手伝いを募り、園での子ども達の姿に触れてもらいながら、園への理解を深めて頂く事ができた。

2) 児童の在籍状況(EC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	9	32	18	34	93
5 月	9	33	18	35	95
6 月	9	32	18	35	94
7 月	9	33	18	35	95
8 月	9	33	18	35	95
9 月	9	33	18	35	95
10 月	9	33	18	35	95
11 月	9	33	18	36	96
12 月	9	33	18	34	94
1 月	9	33	18	34	94
2 月	9	33	18	34	94
3 月	9	33	18	34	94
計	108	394	216	416	1,134

3) 保育園の保守管理(EC)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(EC)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため地震・火災・防犯の避難訓練を実施している。9月の防災週間には保護者の方とも年1回の確認ができるように引き渡し訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・午睡・夜間 抜き打ち訓練
防犯訓練	年2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(EC)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(4、5歳児)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、熱中症対策、救急処置方法、玩具消毒(乳児クラスは毎日、幼児クラスは週末)
看護師による保健衛生の園内研修も定期的に設定し職員の意識の向上に繋げている。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認。感染症流行時には、保護者へ情報発信をし、保護者の方にも感染症への意識を高めてもらい園児の健康な身体作りを共に行っていった。

6) 各種行事の実施状況(EC)

月	行 事
4	入園式、さくら組10キロウォーク
5	子どもの日の集い、春まつり、さくら組お泊り保育

6	ひまわり組お泊り保育、歯科検診、内科検診
7	プール開き、七夕の集い、夏まつり、個人面談
8	たんぽぽ組夕涼み会、プール納め
9	引き渡し訓練、さくら組ふれ愛パーティー、ふれ愛プレゼント渡し、親子うんどう会
10	かき氷パーティー、秋の遠足、秋まつり・ハロウィン
11	さくら組ひまわり組お芋掘り、マラソン記録会
12	クリスマス生活発表会、もちつき会、お楽しみクリスマス、大掃除
1	さくら組カスミ食育、さくら組小学校交流会、マラソン交流会、内科健診
2	節分・豆まきの会、冬まつり、バレンタインクッキング
3	ひなまつりの会、さくら組消防署見学、入園説明会、ありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・幼児体育・音楽リズムセラピー・食育活動

1. 職員の充足状況(EC)

① 定員(80名) 弾力運営 96名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	7	15	18	18	18	16

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	15:1	25:1

● 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	12名	2名	15名

② 現員(令和7年6月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	20名	1名	2名
区分	看護師	保育補助	事務員	全職員 28名	
配置	2名	1名	(1名)		

※ 事務員は保育士兼務

10. 柏みらいこども学園

1) 事業内容(KM)

柏中央保育園の4階にて、令和6年11月から事業開始。行政からのアドバイスから初年度『児童発達支援事業』のみ開始し、障害や発達につまずきのある児童が通所され、日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与または集団生活への適応のための訓練を行うことを事業とし、必須となる個別支援計画書を作成し、本人、保護者、関係機関と協力共同しながら地域の要望に応えた。

改めて、事業は3事業を柱に運営している。

- ① 児童発達支援、②放課後等デイサービス、③保育所等訪問支援を実施する。（主に令和7年4月1日からスタート）

2) 利用定員

現在は3事業で1日利用者数10名まで

3) 職員体制

職種	定数	現員
管理者	1名	1名
児童発達支援管理責任者	1名	1名
保育士又は児童指導員	2名	2名

※ 保育士は柏中央保育園と兼務

4) 利用状況

◇ 年間利用者数（結果）

令和6年11月：3名利用者、14回利用/月

令和6年12月：4名利用者、21回利用/月

令和7年01月：4名利用者、23回利用/月

令和7年02月：4名利用者、23回利用/月

令和7年03月：4名利用者、21回利用/月

◇ 登録者情報

児童発達支援のみであり、柏中央保育園の児童を中心に利用。

◇ 次年度への対応

定員数に余裕もあり、法人が経営する保育園の園児のみならず外部からも受入れる。送迎体制を構築させ柏しんとみ保育園と柏ECEC保育園からの利用を検討し、保育所等訪問への利用工夫に繋げる。

< 以上 >